

広報がもう

「このまちで、心豊かに住み続けたい」と



思える まちづくり

# がまチヨコ



蒲生地区まちづくり協議会 チョコットニュース <https://www.gamoyume.org>

発行者：東近江市 蒲生地区まちづくり協議会・広報企画委員会 住所：東近江市市子川原町461-1・蒲生コミュニティセンター内 TEL / FAX：0748-55-3030



クリスマスローズ

## 蒲生地区

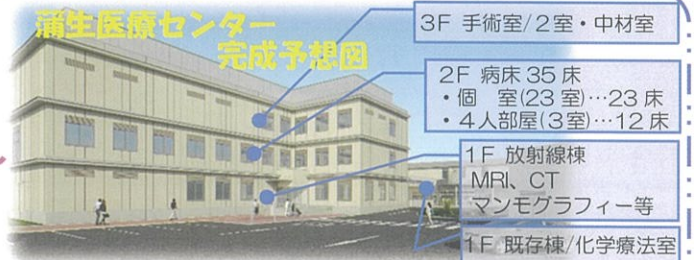
# まちづくりフォーラム

～ 生まれ変わる蒲生医療センター ～

2月8日(日)あかね大ホールにて「生まれ変わる蒲生医療センター」と題して、医療法人社団昂会から3名の方に講演をお願いし、蒲生地区まちづくりフォーラムを開催しました。当日は、雪もちらつく中でしたが、180名の参加を頂きました。

西村純次まち協会長の挨拶で始まり、諏訪裕文蒲生医療センター院長より講師の紹介と講演概略の説明があり、その後3名の方よりお話を頂きました。

**①蒲生医療センター病院化について**  
(医療法人社団昂会 本部長 奈数育男 氏)  
奈数氏からは、最初に相馬俊臣理事長の昂会立ち上げの思いを説明され『この地域で医療分担をする医療ネットワークを構築するとともに医療を支える人材を育て、健康で住みやすい地域づくりに地域貢献をしたい』と熱く語られました。



## ②形成外科ってどんな科？

(日野記念病院形成外科 科長 荒川 夏希先生)

荒川先生は、形成外科&美容外科が開設されることにより形成外科と美容外科の違いや皮膚がん、乳がん、乳房再建などを説明されました。先生は今年8月から蒲生医療センターに勤務されます。



## ③前立腺がんについて

(蒲生医療センター泌尿器科 院長代行 岡田 裕作先生)

岡田先生は、急激な増加をきたしている前立腺がんについての診断と治療について詳しく説明されました。

3名のお話しは、大変わかりやすく有意義な時間を過ごす事が出来ました。



【蒲生地区まちづくり協議会】

## 学び合い・磨き合い研修

東近江市内 14 地区まちづくり協議会連絡会の「学び合い・磨き合い研修」が 2 月 17 日能登川コミュニティセンターでありました。

研修内容は「次世代につなぐ持続可能な地域運営組織のあり方」というテーマで講演があり、その後 12 グループに分かれて意見交換をしました。

各まち協における喫緊の課題は、異口同音に後継者問題が挙げられています。まち協に限らず各種団体でも同様です。講師曰く、①地域・社会の状況は大きく変化しているのに、今のやり方・仕組みはこのままでよいのか。②現状維持は次世代の負担増になる。③活動・事業の見直し・再編なしに担い手不足は解決しない。と厳しい指摘をされました。

当まち協においても、持続可能なものとするため知恵を絞って取り組んでいきたいと思えます。



【蒲生地区まちづくり協議会】

## 美濃加茂市より蒲生まち協視察！

2 月 9 日（月）美濃加茂市より 7 協議会の 32 名が来訪されました。

市職員、蒲生地区まちづくり協議会本部役員、（一社）がもう夢工房理事長、ガリ版芸術村代表、合わせて 8 名で、美濃加茂市の各協議会より事前に出された質問書に沿って対応しました。蒲生地区まちづくり協議会からは、組織や各種取組について紹介すると共に、様々な課題についても説明しました。（一社）がもう夢工房理事長からは、2017 年に設立した経緯や今後の計画等を、また、ガリ版芸術村代表からは、ガリ版が古いものではなく新しい表現ツールとして若い世代に繋がる可能性を説明しました。

質疑応答では、まちづくり協議会と自治会との連携や若者の人材確保、また加入率のこと等、持続可能なまちづくりに必要なことについて活発な意見交換ができました。



【蒲生地区まちづくり協議会】

## ガリ版 100 の物語 ③⑥

～ がり版でつづる会報 30 年 ～

蒲生に拠点を置くガリ版愛好者の全国組織・新ガリ版ネットワークは、2008 年の発足から 18 年目を迎えます。この会の前身は、1994 年、故志村章子氏らにより組織されたガリ版ネットワークです。発足時からガリ版関連情報を収集し提供するため会報が発行されました。昨年末で通算 48 号を数え、ガリ版刷りにこだわり、会の活動（蒲生本部、首都圏支部、九州支部）や、会員、愛好者の活動、関係記事を掲載しています。今号は、大阪万博や、特集では福岡県で活動する 4 団体・個人を紹介しています。会員数は少なくなりましたが、会報を通して全国の愛好者との絆を深めています。会報（有料）希望の方は事務局まで。（新ガリ版ネットワーク）



【蒲生地区まちづくり協議会】

## 蒲生の文化財

33

蒲生地区まちづくり協議会  
（万葉ロマンの里づくり部会）

### 東近江市指定有形文化財

#### 立善寺（りゅうぜんじ）宝篋印塔（ほうきょういんとう）

合戸町の立善寺にある宝篋印塔は、鎌倉時代文保 2 年（1318）に造立された石塔で、基礎・塔身・笠・相輪から構成されています。石質は花崗岩で、高さは 1.344 m あります。基礎は壇上積式で、側面は四面とも格狭間を彫り、二面に開花蓮華（かいかれんげ）、他の二面に五茎蓮華（ごけいれんげ）を彫出し、上部には複弁三葉の反花を造り出しています。基礎に「文保二年戊午/十月口日孝子ホ敬白」の刻銘があります。塔身は層塔の塔身が代用され、三面には釈迦・弥陀・弥勒の種子が、一面には後に輪郭を造り「妙法」の二字が彫られています。笠は軒下に二段、軒上に五段の段刻みを付け、四隅に二弧輪郭付きの隅飾りを造り出しています。相輪は伏鉢・請花・九輪・請花・宝珠を一石で造り出しています。この塔は、造立年が明らかな鎌倉時代後期の宝篋印塔として重要で、基礎の五茎蓮華は極めて珍しいものです。



## わくわくこらぼ村に参加しました

2月21(土)能登川コミュニティセンターにおいて、東近江市内で活動するさまざまな団体が一堂に会し、販売やワークショップ、展示、ステージ発表などを通して日頃の取り組みを紹介する「わくわくこらぼ村」が開催されました。60団体がそれぞれ工夫を凝らしたブースには、多くの人で賑わっていました。

蒲生地区まちづくり協議会で、地域での取り組みの様子をパネル展示し、広く発信しました。



また、(一社)がもう夢工房は、ガリ版の体験と、炊き込みご飯の販売をしました。家族連れが楽しそうにガリ版体験に挑戦し、出来上がった作品を手に笑顔を見せる

姿が印象的でした。炊き込みご飯も好評で、「おいしい!」という声も聞こえてきました。



会場内には子どもたちの笑い声が響きわたり、世代を超えた交流が生まれる温かな雰囲気包まれ、地域の魅力と人のつながりを感じる、1日でした。【蒲生地区まちづくり協議会(広報企画委員会)】

## 蒲生の桜並木を探そう!

蒲生地区には、桜並木がたくさんあります。暖かい春の日、ぜひ見つけて楽しんで下さい。



【蒲生地区まちづくり協議会(広報企画委員会)】

令和8年4月1日より

## 蒲生地域包括支援センターを開設します!

介護保険の申請受付やサービスの利用に関する相談をはじめ、認知症についての相談、高齢者の虐待防止や悪徳商法被害の防止など、高齢者がいつまでも住み慣れた地域で安心した暮らしが出来るよう、様々な相談に対応いたします。体調が悪い時や、家族の介護などで来所が難しい時は、訪問による相談も可能です。お気軽にご相談いただけますようお願いいたします



<蒲生地域包括支援センター>

東近江市社会福祉協議会 蒲生事務所(せせらぎ)内  
〒529-1531 東近江市市子川原町676番地  
TEL 0748-34-0039 | P 050-5802-9680

再発見

## 連載がもうの話

蒲生地区まちづくり協議会  
(万葉ロマンの里づくり部会)

153

### 小学校の校歌

学校・園には式典時などに斉唱する校歌・園歌がある。歌詞や旋律には作詞家や作曲家の地域や子どもに対する思いが込められている。卒業生は校歌を歌うと学校時代の思い出がよみがえる。

蒲生地区では東小学校(旧桜川小学校)、西小学校(旧朝日野小学校)ともに1930年(昭和初期)頃に作られている。しかし、東小では「大和心を磨かなん」という詞が戦後の空気になじまなかったためか、1950年頃に新校歌に作り替えられた。西小では「我が朝日野」「村の風習」などの詞が1955年の新町(蒲生町)成立後に適さなくなったためか、新校歌に改められた。1999年開校の北小学校では、公募により準備された。

東小の新しい校歌の作詞は滋賀新聞主幹の木村緑氏が、西小は市子殿在住の歌人小林喜一郎氏が、北小は近江八幡市の井上久雄氏のものを選ばれた。作曲は、東小は元海軍軍楽隊長の福喜多鎮雄氏、西小は滋賀大学の岡田二郎氏、北小も滋賀大学の中井憲昭氏である。

朝日野尋常高等小学校校歌  
一、我が日の本は太古より  
二、我が朝日野は土地廣く  
三、我が学舎の目標は  
心を開き進めよ  
卒業生の誇り  
志と夢を盡す  
村の風習も美しく  
歴史に富み世に誇り  
世界の手和れぬ国  
国威は四方に輝きて  
因るは安んずる

朝日野尋常高等小学校校歌  
(『蒲生西小学校百周年記念誌』掲載)



# 蒲生コミュニティセンター

友達募集中  
LINE 公式アカウント  
☎0748-55-0207 IP050-5801-0207 FAX0748-55-3898 ID@508qfqtn  
(申込み・問合せ受付時間) 9:00~17:00



▶ **第231回 音楽の散歩道**

3月27日(金) 13:30~(開場 13:00)

【内容】バイオリン・歌・ピアノの演奏  
(出演)「真由美&あけみ&真由美」さん

【場所】蒲生コミュニティセンター 小ホール  
【参加費】500円(当日、受付でお支払いください)  
【定員】120人 【案内人】東岸 佐優里さん

令和8年度 開催予定日  
5/22、7/10、9/25、11/27、1/22、3/26

▶ **令和8年度 蒲生わいわいサロン ※申込要**

【日時】4月15日(水) 10:00~11:30  
【内容】こいのぼりのお箸置き&豆皿づくり  
~食卓にちいさな春を~

春の季節にぴったりの、こいのぼりをモチーフにしたお箸置きと豆皿を手づくりします。完成した作品は電気釜で本格的に焼き上げます。(後日お渡し) おしゃべりしながら、ゆったりと春の手しごとを楽しみませんか。

【講師】南幸男さん 【場所】工芸室 【定員】25名  
【参加費】500円(当日、受付でお支払いください)  
【持ち物】雑巾、エプロンなど(汚れてもよい服装)  
(申込み受付) コミセン窓口(電話可) 3/23~4/5

蒲生コミュニティセンター  
**登録団体のごあんない**

サークル活動されている方やこれから始めたいみなさんを応援します!

【応援制度のついて】

- ★蒲生コミセン利用料が半額減免になります
- ★登録費は不要
- ★文化祭など地域行事への参加機会あり

✓ 利用団体要件

- ◆営利目的でないこと
- ◆構成員5名以上(うち6割以上が市内在住)
- ◆講師謝金は1回5,000円以内/(教材費は実費)
- ◆年間おおむね10回以上の定期利用

文化祭などの行事に運営として、かかわっていただく機会があります。

▶ 教室・講座の詳細は、QRコードを読み込み、チラシをご覧ください。

公益財団法人 東近江市地域振興事業団

## あかねジュニアバンド 参加者募集

活動費 2,000円(月額)

練習日 日曜日 9:30~11:30

対象 小学3年生~6年生  
未経験者も大歓迎・地域も問いません。

**My クリニック 長峰診療所**

4月の診察日・元氣塾のお知らせ

1(水): 夜診(内科)	3(金): 午後診(小児科)	※午前診 (9:00~11:30)
8(水): 夜診(内科)	10(金): 午後診(小児科)	※午後診 (14:00~15:30)
11(土): 午前診(内科)	17(金): 午後診(小児科)	※夜診 (17:30~19:00)
15(水): 夜診(内科)	24(金): 午後診(小児科)	
22(水): 夜診(内科)	9(木): 元氣塾	
25(土): 午前診(内科)	23(木): 元氣塾	

※(15:00~1時間程度)

長峰診療所の診察日や「ながみね元氣塾」の情報を発信中!!

診察日の最新情報を... →  
お友だち登録で情報を... →

◇長峰地区だけでなく、どなたでも診てもらえます!  
◆予約電話番号(長峰診療所): 0748-45-2175(長峰診療所対策チーム)

昨年度は、14小学校から33名で活動してました。明るいあいさつ・感謝の心をもつ・ねばり強く挑戦をモットーに頑張っています。

**わいが屋@せせらぎで楽しいひと時を♪**

4月の開催案内

4/16(木) 13:30~15:00  
マジック&トーク「さくらの花によせて...」

どなたでも参加できます!

場所 東近江市社会福祉協議会 蒲生事務所せせらぎ  
東近江市市子川原町 676-1  
問合せ TEL 0748-55-4895 IP 050-5802-2528  
【蒲生地区第2層協議体「わいがや支え合い蒲生」】

蒲生まち協会員は、蒲生地区に住んでいる一人ひとりが会員です。

■蒲生地区の人口 (令和8年3月1日現在)  
人口: 13,887人(-11)  
男性: 6,927人(-2)  
女性: 6,960人(-9)  
世帯数: 5,681(+1)  
※( )内は前月比

**がまチョコ**に皆様のご意見・ご感想をお寄せ下さい。  
Email: gamomachikyo@e-omi.ne.jp TEL/FAX: 0748-55-3030

HPのQRコード ←がまチョコのバックナンバーも見られます。 蒲生地区まちづくり協議会(広報企画委員会)